

みんな車いすで奮闘

障害がある人もない人も車いすに乗り、床に置かれた約一坪四方の大きなかるたをタイヤで踏んで取り合う、「大カルタ取り大会」が二十五日、岐阜市金町の市文化センターであった。

NPO法人「障害者自立センターつかいぼう」が毎年開いており、三十回目。市内外から約百三十人が参加した。

同じハンディで競技を楽しみ交流することで、障害者への理解や社会参加を進めるのが狙い。「届かない所にある商品あきらめ別の品探し」「コンサート入れるようになったけど周囲総立ち見えぬステージ」「レストラン あるといいなあ点字のメニュー」など、障害者への理解不足などを題材とした問題が読み上げられると、参加者が一斉に車いすを動かしかるたを取り合っていた。

(下條大樹)

岐阜 障害者理解へカルタ大会



車いすでかるたを取り合う参加者
|| 岐阜市金町の市文化センターで